

## 戸塚区連合町内会自治会連絡会6月定例会 議 題 説 明 書

戸塚区総務課

**議題名：まるごとまちごとハザードマップの設置について**

**【内容】**

戸塚区では、地域の洪水リスクを“まちなか”で視覚的に確認し、水害を自分事として捉えていただくため、東京電力所有の電柱にその場所の想定浸水深を標示する「まるごとまちごとハザードマップ」を設置します。

**【標示方法】**

東京電力所有の電柱に、看板及び洪水時の水の高さを表すテープを取り付けます。

**【設置場所】**

戸塚区における洪水浸水想定区域内100箇所の電柱

**【設置時期】**

令和6年8月より順次設置(8月末完了予定)

**【例年あげている議題か?】**

今回初めての議題です。

**【会議に参加している地区連長が、各地区の単会会長に何を伝えればいいのか?】**

**【各単会の会長に何を依頼したいのか?】(具体的に記入してください。)**

事業の内容周知のため、各自治会町内会1部ずつ資料を配布いたしますので、生活圏内で看板を見かけましたらぜひご確認いただきますようご周知ください。

**【その他、注意することなど】**

問合せ先

担当部署 戸塚区総務課庶務係

担当者名 浅野、中川

TEL 866-8307 FAX 881-0241

自治会町内会長 各位

戸塚区総務課長 藤咲 貴裕

## まるごとまちごとハザードマップの設置について

近年、大雨による水害は全国各地で発生し、甚大な被害が発生しています。柏尾川をはじめ多くの河川が流れる戸塚区においても、洪水はいつ起こるかわかりません。

そこで戸塚区では、地域の洪水リスクを“まちなか”で視覚的に確認し、水害を自分事として捉えていただくため、「まるごとまちごとハザードマップ」を設置します。

### 1 まるごとまちごとハザードマップとは

大雨等による洪水が発生した際に、どのくらい浸水する可能性があるのか(想定浸水深)を生活空間である“まちなか”に標示する取組です。国土交通省が推奨し、全国の自治体に広がっています。

### 2 標示方法

東京電力所有の電柱に、看板及び洪水時の水の高さを表すテープを取り付けます。

(イメージ)



※写真は港北区に設置されたもの。看板のデザインは変更となる場合があります。

### 3 設置場所

戸塚区における洪水浸水想定区域内 100 箇所の電柱（別紙参照）

なお、事業者による今後の現地調査の結果、変更となる場合があります。

### 4 設置時期

令和6年8月より順次設置（8月末完了予定）

5 設置事業者

東電タウンプランニング株式会社

6 お願いしたいこと

生活圏内で上記看板がありましたらぜひ見ていただき、地域の水害リスクをご確認ください。

担当 戸塚区総務課 浅野、中川

電話 045-866-8307

F A X 045-881-0241

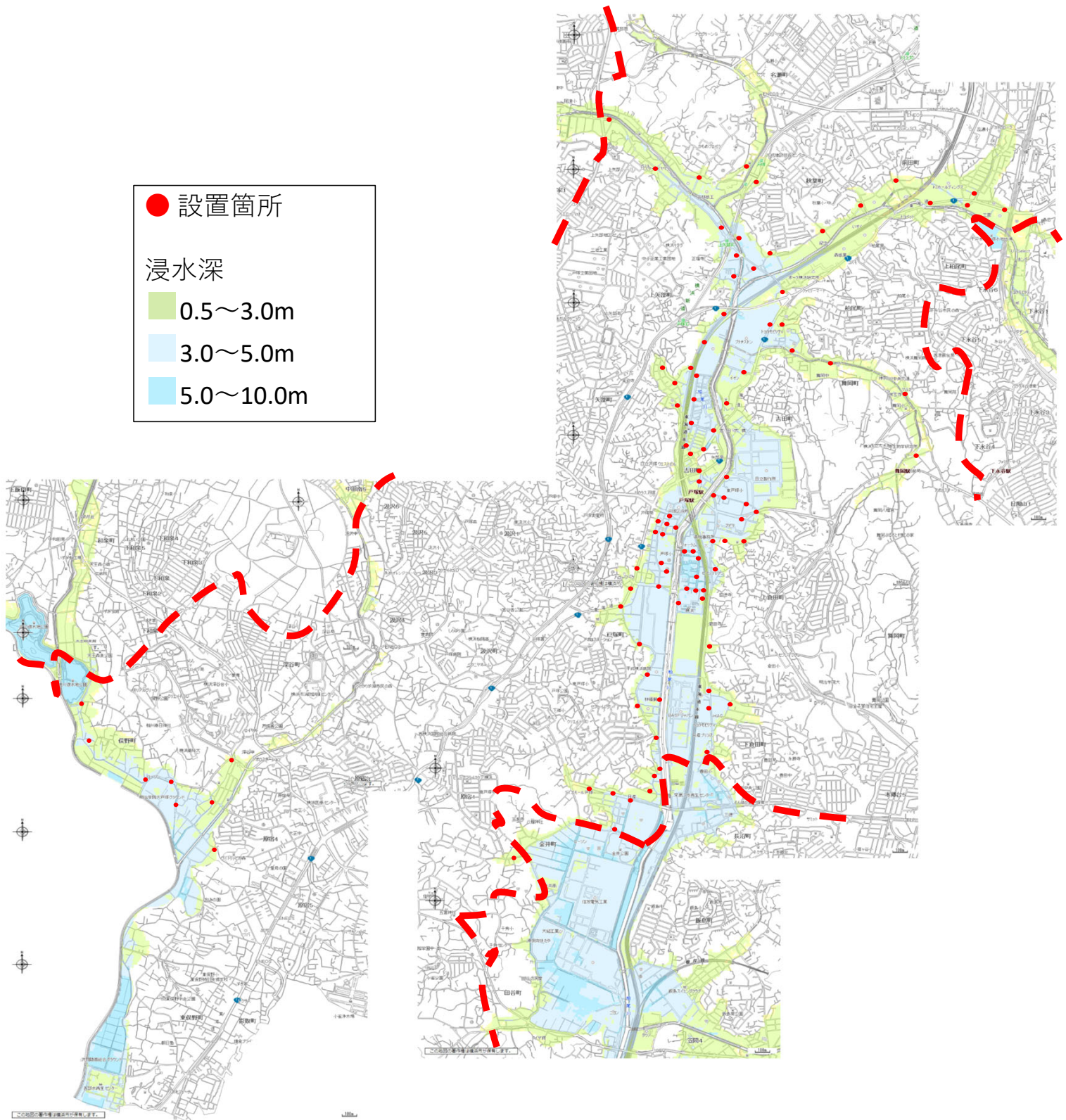
Eメール to-bousai@city.yokohama.jp

# 戸塚区内設置箇所一覽

● 設置箇所

浸水深

- 0.5～3.0m
- 3.0～5.0m
- 5.0～10.0m



※拡大した図面をご希望される場合は担当宛ご連絡ください。

担当：戸塚区総務課 浅野、中川

電話番号：045-866-8307 Eメール：to-bousai@city.yokohama.jp